



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東
コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）米山 大介
問合せ先責任者 （役職名）専務取締役 （氏名）松岡 昌哉 TEL 011-812-1131
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	11,542	29.7	2,519	615.2	2,562	558.9	1,789	76.3
2025年3月期中間期	8,898	△8.0	352	△81.0	388	△79.4	1,015	△22.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	211.57	—
2025年3月期中間期	120.02	—

（注）「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,768	15,398	74.1
2025年3月期	19,216	14,153	73.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 15,398百万円 2025年3月期 14,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	85.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2025年11月12日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,200	14.4	3,430	78.1	3,500	74.9	2,400	10.0	283.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（2025年11月12日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間財務諸表及び主な注記」(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	8,459,000株	2025年3月期	8,459,000株
2026年3月期中間期	118株	2025年3月期	82株
2026年3月期中間期	8,458,912株	2025年3月期中間期	8,458,918株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(中間損益計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における日本経済は、不安定な国内外の政治、経済情勢から景気の先行きには不透明感が漂っています。個人消費を支える実質賃金は企業によるペースアップや政府による最低賃金の引き上げにもかかわらず食料品の値上げ等により9月まで9カ月連続でマイナスとなっており、さらに中小企業の倒産件数も高水準を維持しています。

鶏卵相場は、今年2月までに鳥インフルエンザにより殺処分された840万羽の採卵鶏の再導入が進んだものの7月以降の猛暑のため鶏の産卵率や卵重が低下したことから9月末まで比較的高水準を維持しています。この結果、当中間会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ327円52銭（前年同期比100円70銭高）、東京Mサイズ平均は1キロ328円78銭（同112円79銭高）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格は、主原料たるトウモロコシや大豆粕の価格が下落したことから第1四半期、第2四半期とも値下げとなったため、実質コストは前年同期を下回りました。

当中間会計期間の業績は、鶏卵販売数量は前年同期より若干増加しましたが、特に栄養素や飼育方法で差別化を図った特殊卵は10%以上増加しました。さらに鶏卵相場の上昇もあり、売上高は11,542百万円（前年同期比29.7%増）、営業利益は2,519百万円（前年同期比615.2%増）、経常利益は2,562百万円（前年同期比558.9%増）、中間純利益は1,789百万円（前年同期比76.3%増）となりました。

なお、海外においてはウクライナ及び中東の地政学的リスクは依然高く、国内では10月に入り今秋初めての鶏インフルエンザ感染が道内の養鶏場で確認されて以降、11月には道外にも感染が拡大しています。これらの国内外のリスクは当社の経営成績及び財政状態に大きな影響を及ぼす可能性があります。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産

当中間会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べて1,552百万円増加し20,768百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて1,303百万円増加し8,099百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1,351百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて248百万円増加し12,669百万円となりました。これは、主として有形固定資産のその他が280百万円増加したこと等によるものです。

②負債

当中間会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べて307百万円増加し5,370百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べて441百万円増加し3,996百万円となりました。これは、主として未払法人税等が269百万円、その他が197百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて133百万円減少し1,373百万円となりました。これは、主として長期借入金が137百万円減少したこと等によるものです。

③純資産

当中間会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて1,244百万円増加し15,398百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1,197百万円増加したこと等によるものです。

（3）当中間期のキャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ、951百万円増加し、5,145百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,833百万円の収入（前年同期は1,681百万円の収入）となりました。これは主として税引前中間純利益2,593百万円、減価償却費546百万円等による資金の増加が、法人税等の支払額527百万円等による資金の減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、1,131百万円の支出（前年同期は914百万円の支出）となりました。これは主として定期預金の預入400百万円、有形固定資産の取得723百万円等による資金の減少等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、751百万円の支出（前年同期は504百万円の支出）となりました。これは主として長期借入金の返済147百万円、配当金の支払額592百万円等による資金の減少によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年8月13日に公表いたしました2026年3月期の通期業績予想並びに配当予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては本日（2025年11月12日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,194	5,545
受取手形及び売掛金	2,074	2,001
商品及び製品	116	110
仕掛品	17	20
原材料及び貯蔵品	203	263
その他	187	157
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,795	8,099
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,743	7,681
構築物（純額）	587	626
機械及び装置（純額）	1,357	1,289
車両運搬具（純額）	25	28
土地	1,380	1,384
その他（純額）	214	494
有形固定資産合計	11,308	11,505
無形固定資産	64	106
投資その他の資産		
投資有価証券	530	565
その他	517	492
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,047	1,058
固定資産合計	12,420	12,669
資産合計	19,216	20,768
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,514	1,481
電子記録債務	166	209
1年内返済予定の長期借入金	294	284
未払法人税等	564	834
賞与引当金	158	162
役員賞与引当金	31	—
その他	826	1,024
流動負債合計	3,555	3,996
固定負債		
長期借入金	1,134	996
退職給付引当金	178	180
役員退職慰労引当金	99	102
資産除去債務	77	78
その他	16	15
固定負債合計	1,507	1,373
負債合計	5,062	5,370

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	12,157	13,355
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,966	15,164
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	186	234
評価・換算差額等合計	186	234
純資産合計	14,153	15,398
負債純資産合計	19,216	20,768

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,898	11,542
売上原価	7,765	7,870
売上総利益	1,133	3,672
販売費及び一般管理費	※1 780	※1 1,152
営業利益	352	2,519
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	7	8
仕入割引	11	13
受取賃貸料	17	17
その他	5	5
営業外収益合計	42	48
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	388	2,562
特別利益		
固定資産売却益	4	0
受取保険金	36	1
補助金収入	40	88
へい殺畜等手当金	731	—
家畜防疫互助金	333	—
特別利益合計	1,146	89
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	42	56
その他	6	1
特別損失合計	49	58
税引前中間純利益	1,485	2,593
法人税等	470	804
中間純利益	1,015	1,789

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1,485	2,593
減価償却費	522	546
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34	△31
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	2
受取利息及び受取配当金	△8	△11
支払利息	1	1
固定資産売却損益 (△は益)	△4	△0
固定資産除却損	42	56
受取保険金	△36	△1
補助金収入	△40	△88
へい殺畜等手当金	△731	—
家畜防疫互助金	△333	—
売上債権の増減額 (△は増加)	193	73
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12	△56
仕入債務の増減額 (△は減少)	△80	10
その他	△105	158
小計	872	3,261
利息及び配当金の受取額	8	11
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△338	△527
保険金の受取額	36	1
補助金の受取額	40	88
へい殺畜等手当金の受取額	731	—
家畜防疫互助金の受取額	333	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,681	2,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△400
有形固定資産の取得による支出	△818	△723
有形固定資産の売却による収入	6	0
無形固定資産の取得による支出	△10	△0
投資有価証券の取得による支出	△7	△2
投資有価証券の売却による収入	—	40
その他	△83	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	△1,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△154	△147
リース債務の返済による支出	△11	△11
配当金の支払額	△338	△592
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504	△751
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262	951
現金及び現金同等物の期首残高	3,900	4,194
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,163	5,145

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(中間損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
従業員給料及び手当	136百万円	134百万円
賞与引当金繰入額	39百万円	42百万円
退職給付費用	3百万円	3百万円
役員退職慰労引当金繰入額	2百万円	2百万円
運賃諸掛	492百万円	542百万円
卵価安定基金支払	108百万円	141百万円
卵価安定基金収入	△270百万円	一百万円

2 業績の季節的変動

当社では、鶏卵相場特有の季節的変動のため、利益が第3四半期会計期間に偏重する傾向にあります。